

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	福岡県筑後市
本事業の担当部局名	総務部企画調整課

事業メニュー		結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分		重点メニュー							
関連事業メニュー		3.2.2 地域全体で結婚・子育て、子育てと仕事の両立と多様な働き方を応援する気運醸成							
個別事業名		ちくごスマイルフェスタ				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和1年度	
総事業費(A)(円)		297,060		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0		差引額(A-B)(円)	297,060
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		297,060							
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費		
	総事業費	20,000	0	0	6,540	92,200	25,000		
	対象経費支出予定額	20,000	0	0	6,540	92,200	25,000		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計		
	総事業費	146,000	7,320	0	0		297,060		
	対象経費支出予定額	146,000	7,320	0	0		297,060		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。							
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通 筑後市はこれまで「筑後市総合戦略(第1期:H27、第2期:H31)」に基づき、「安心して子どもを産み、育てられるまちをつくる」を基本目標に、少子化対策に総合的に取り組んできた。 本市は合計特殊出生率が1.47(R5)と全国や福岡県の平均と比較すると高いものの、生涯未婚率は16%(H27)から18%(R2)と増大しており、未婚化・晩婚化が進行している。 総人口に与えてきた自然増減と社会増減の影響を見ても、R6年には自然減は264人となり、前年の232人を上回る結果となっている。 ＜本個別事業の位置付け＞ 国が定めた「家族の日」にイベントを実施することで、多様な家庭や家族の形態があることを踏まえつつ、家族や地域の大切さ、こどもを社会全体で温かく包み込む大切さ等について理解促進を図るもの。							
個別事業の内容	番号	項目	内容						
	1	概要	「家族の日」(11月第3日曜日)に市内の社会教育施設を貸し切り、家族との時間を感じるための様々なブースを設置する。 ブースでの企画内容については、民間の保育施設や外部団体と協議し、来訪者の関心を引く内容へと再編していく。						
	2	実施内容	なお、様々な世代へ本事業を周知するため、市HP、広報誌、市公式SNSのほか県が運営する結婚・子育て応援イベント概要案:令和8年11月15日(日) ①家族で写真撮影会…市内で活動するプロのカメラマンに委託し、記念撮影をすることで移りゆく家族の「今」を記録する。例年多くの参加希望があるため撮影に用いるブースを増設し、来場のきっかけにつなげる。定員:30組100名程度 ②子ども体力測定…ブログビーチーム「ルリーロ福岡」所属選手協力のもと、25m走やボール投げ等の体力測定を行う。定員:100名 ③スポーツ体験プロジェクト…野球、サッカー、バスケットボール等のプロ選手やOBと競技を通じて交流する。定員:100名 ④ゆずりっこ…サイズの合わなくなった子供服や不要になった子育て用品の譲渡会を行い、地域が子育てを応援していることをPRする。定員:なし(品物がなくなり次第終了) ⑤リユース自転車抽選会…市かんきょう課と協力し、リユース自転車やリサイクル用品の抽選会を行う。定員:なし ⑥工作・ゲームコーナー…秋ならではのどんぐりや松ぼっくりを用いた工作やゲームコーナーや子どもの手形を使ったアート体験コーナーを設けて、親子でのふれあいの機会を設けることを狙いとする。会場には市内小						
	3								
	＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)＞ ・他課や外部団体へ協力を依頼し、人員を確保したことで実施内容を充実させることができたが、運用等について連携がうまくいかない部分があった。 →関係者との連絡を密にとり、当日の流れを明確にしておく。 ・「家族の日」を統一のテーマとした構成ができず、アンケートにおける事業認知度に関する数値が低下した。 →イベントを楽しみつつ、事業の趣旨である機運醸成ができる内容であるか精査する。 ・市長選挙のため開催日を例年と異なる土曜日にしたところ、学校行事等と日程が重なったり、勘違いして予約する参加者が散見された。 →日程確定前に可能な範囲で他のイベントとのブッキングを避ける形で調整を行う。予約段階で日程や時間のリマインドを行う。								
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通		KPI項目			単位	目標値(時点)		現状値(時点)	
		合計特殊出生率				1.81 (R8年)		1.47 (R5年)	
		若年層有配偶者率			%	51.0 (R8年)		49.1 (R6年)	
参考指標 ※全事業共通		項目			単位	直近の実績値(時点)			
		合計特殊出生率				1.47 (R5年)			
		婚姻件数			件	180 (R4年)			
		婚姻率				3.64 (R5年)			
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標		KPI項目			単位	目標値(時点)		現状値(時点)	
		番号	項目						
		(アウトプット)							
		①	連携団体数		団体	20 (R8年度)		48 (R6年度)	
		②							
		③							
		④							
		⑤							
		(アウトカム)							
		①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)		%	---		---	
		②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)		%	---		---	
		③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)		%	100 (R8年度)		88.2 (R7年度)	
		④	来場者数		人	250 (R8年度)		(R6年度)	
		⑤	「家族の日」の認知度		%	100 (R8年度)		58.8 (R6年度)	
⑥									
⑦									
⑧									